

六中防災 便り

Vol.7

2016.9.16

簡易宿泊体験 各グループの取り組み

A 庶務部 情報班

避難所に来た人の一覧表作成や、連絡を行いました。

正しい情報を得る方法や誰が避難所にいるかを把握する方法を話し合い、実際に各教室を回って避難者リストを作成しました。



B 庶務部 生活支援班

避難所生活のルールや避難所の案内図を作成しました。

また、避難所生活でのストレス発散法や衛生面の管理について話し合いました。



C 庶務部 帰宅困難支援班

帰宅困難者受け入れの準備や管理について話し合いをしました。

帰宅困難者を受け入れるにあたって必要なルールや必要とされる支援などの意見を出し合いました。



D 物資部 炊き出し班

災害用ボイラーを使ってお湯を沸かし、90人分のアルファ米の炊き出しを行いました。

開封に苦戦し、注意深くお湯を注ぐ姿が見られました。また、毛布の配布・回収も行いました。



E 護衛衛生部

包帯の巻き方等を学び、実際に演習を行いました。

また、避難所生活でよく起きるエコノミクス症候群や感染症の予防のためにできることを考えました。



F 施設管理部 警備防犯班

避難時に、ペットをどこで飼育するか、清掃はどのように分担するかなどを話し合いました。

段ボールや新聞紙を使って簡易ペット小屋を作成しました。



G 施設管理部 施設設営班

炊き出し場所に配給テントを設営しました。声をかけ合い協力して作業していました。

また、区の防災課職員の方にアースイントイレの設営や初期消火について質問し、学びました。



消火隊訓練がありました！

12日（月）の放課後、中学生消火隊訓練が行われ、18日（日）の消防団集中点検にむけた実技指導をしていただきました。

放水班は4人で役割を決め、すばやく行動できるよう練習しました。救護班は包帯法や担架の搬出の練習をしました。

<参加した生徒の声より>

・私たちにできることはたくさんあり、人の役に立てることがわかりました。自分から積極的にできることをしていくことによって避難者がおちついて行動できると考えました。 ・毛布で睡眠をし、このような床で1日や2日を過ごすことは容易なことではないと思った。